

不登校の子どもたちのための多様な教育支援の場の確保に関する請願

1 趣 旨

いまだ続くコロナ禍の中、子どもたちを取り巻く厳しい状況はますます深刻化している。特に、不登校の子どもたちは年々増え続けており、要因や背景も様々である。不登校の子どもたち一人一人の事情に寄り添うことができるような、多様な支援を実施することが必要である。

そのような中、不登校の子どもたち一人一人の実情に合わせた新たな居場所として「フリースクール」が注目されている。

福井市のフリースクール「福井スコーレ」では、小学校から高校生までの子どもたちが、支援者から出された課題に対する話し合いや他者理解を狙いとした体験活動を行い、つながりを深めている。どの子も自分の意見を述べたり、相手の意見に対して共感したりしながら楽しく活動しており、安心できる居場所となっている。ここでの活動を通して学習意欲が刺激され、学校復帰につながった子もいるようである。

また、他県では、校内の空き教室を利用し「校内フリースクール」を設置しているところが増えてきている。広島県では、小中学校33校において校内フリースクール「SSR（スペシャルサポートルーム）」を設置している。専任の教員が配置され、子どもたちは自分のペースで学習を進めている。必ずしも学級復帰を目的としてはいないが、校内に心を落ち着ける居場所があることで不安が和らぎ、自分から通常学級の教室に通い出す子がいるなど成果が見られている。

このように、安心して人と関われる居場所や個別の学習支援・相談支援を行える場所があることで、子どもたちの不安が解消され、学校復帰や学習に対する意欲回復につながることを期待されている。

そこで、下記のとおりに請願する。

記

不登校の子どもたちの多様な価値観を認め、一人一人のニーズに寄り添った支援ができるよう、校内にフリースクールを設置したり、既存のフリースクールと連携を図ったりするなど、多様な支援の場を確保すること。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民協議会 会長 矢田弘

3 紹 介 議 員

仲倉典克、西畑知佐代、西本恵一、細川かをり

4 受 理 年 月 日

令和4年11月18日